

3年ぶりに実施！ 第21回平和の森公園 清掃ボランティア活動

「きれいな会場で平和の森コンサートと平和祈願祭を！」のスローガンのもとに、7月25日（日）早朝7時から第21回となる平和の森公園清掃を実施しました。

令和に入って元年、2年と2年続けて雨天中止となっていました。今年ようやく3年ぶりに猛暑の中にも爽やかな風の中、気持ちよく1時間の作業を終了しました。

参加者は、各福祉協会会員、平和の森コンサート実行委員会、市民ボランティア、市都市施設整備課職員などの皆さん、総勢36人でした。

開会の藤田会長の挨拶に、「平和の森公園には、広島市から寄贈され日本で最初に植樹されたアオギリ二世の木がすくすく育っている」という話があり、その木のまわりもきれいに清掃しました。

各福祉協会は、例年の担当エリアを手慣れた様子で清掃に取り組み、おかげで公園がきれいになるにつれ、心も爽やかな気持ちになりました。

きれいになった平和の森公園では、7月31日に「平和の森コンサート」が開催され、コロナ禍の中のため規模は縮小されましたが、無事に終了しました。また、翌日8月1日には「平和祈願祭」が執り行われ、出席されたお客様をきれいな会場

で気持ちよくお迎えできました。

今回は、一般市民の方々からもボランティアとしての参加があり、一緒に汗を流しました。ありがとうございました。また、参加の皆さん大変お疲れさまでした。

この活動が始まった経緯は、平和の森公園建設当時に「平和の森をつくる会」の会長だった藤田芳雄氏（全盲の視覚障害者）が、白杖をつきながら募金活動を呼びかけ、市との交渉にあたり、公園建設にこぎつけたことから、その意思を受けて、公園完成の翌年（平成9年）から当長岡市身体障害者団体連合会が、長岡まつり前の7月に、毎年公園清掃のボランティア活動を行っています。

今年開催のオリンピック・パラリンピックは平和の象徴です。戦争によってふたたび障害者を出してはならないという、祈りをこめながら・・・

長岡身障連かわら版

【発行人】
長岡市身体障害者団体連合会
会長：藤田芳雄
令和3年夏号

(K・K記)



平和の森コンサート



平和祈願祭



公園清掃作業風景



公園清掃参加者集合写真

【3ページに関連記事掲載】

「第54回新潟県身体障害者福祉大会」及び 「令和3年度地域団体研修会・会員総会」縮小して開催！

7月15日（木）に新潟市内のANAクラウンプラザホテル新潟にて、県内の会員など約40名が集まり、「第54回新潟県身体障害者福祉大会」及び「令和3年度地域団体研修会・会員総会」が開催されました。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりましたが、今年はコロナ対策をとりながら2年ぶりの開催となりました。

福祉大会の式典では、今年度新たに県連代議員会会長となった藤田会長から、被表彰者に表彰状が授与されました。



土田事務局長講演

また、例年実施している、平和の森公園清掃ボランティア活動や納涼まつり、新年合同交流会などの行事等についても、行事参加者の反応などを織り交ぜながら報告しました。他の地域団体の今後の事業活性化の一助になったのではないかと思います。

最後に、会場から発言があり「県身連及び地域団体の大きな収入財源となっている市町村施設等に設置する自動販売機について、一部市町村における一般競争入札導入により、障害者団体が設置団体となれない事態が出てきている」との問題が指摘されました。

これについて県身連から、後日文書により回答があり、7月21日に開催された「福祉団体懇談会」の席上で大矢本部長より県福祉保健部長に対して要望を行いました。県の回答は、「県の入札制度や調達制度の中では、障害者団体や福祉団体の事業を優先して採択するという仕組みがあるので、そういった制度のなかで個別に対応したい。」とのことでした。

県身連事務局所見として、「各地域団体では、市町村に対して、今までの経過や趣旨を説明・理解いただき、継続して設置要望を行っていくことが肝要である。」としています。

いまだ、新型コロナウイルスの収束の見通しは立ちませんが、来年は多くの皆さんが顔を揃えて「福祉大会」と「研修会・会員総会」が開催できるように願っています。（H・K記）



藤田会長あいさつ

また、当長岡市身障連からは、肢体障害者協会の大橋正晴さんが「結婚30年以上 夫又は妻が障害者」の部で表彰を受けられました。おめでとうございます。

大会宣言案は、阿賀町身体障害者福祉協会の宮川千代子さんが朗読され、拍手をもって採択されました。

その後の「令和3年度地域団体研修会・会員総会」では土田事務局長が「コロナ禍における団体の取り組み」をテーマに講演しました。

内容は、昨年10月に実施した「長岡市身体障害者団体連合会設立50周年記念式典」の取り組みや、「障害者川柳」の取り組みでは、最初にTeNYテレビ新潟の番組録画を見てもらい、障害者川柳とはどんなものかを感じてもらおう工夫をし、コロナ感染防止対策を踏まえた開催当日までの取り組みを報告しました。

「緑」と「平和」の公園 平和の森公園

長岡市のほぼ中央、JR長岡駅から徒歩15分、市内の中心部を流れる柿川の流に沿って、古くからあるお寺が立ち並ぶ本町3丁目を歩いてゆくと、突然、家並が切れ、視界が開けて深い緑が目飛び込んできます。これが越後長岡百景のひとつに選ばれた平和の森公園です。

この平和の森公園は、面積約1,000坪(3,038㎡)、平成7年(1995年)に、昭和20年8月1日の長岡空襲から50年になるのを機に、市民の提案と運動によって平成8年(1996年)8月1日に長岡市によって建設されました。

市民が1本1本、平和への祈りをこめて植えて作った森と、長岡空襲の猛火を避け、多くの人々が飛び込んで亡くなった柿川を、公園施設内に取り込んだ、祈りと緑にあふれた公園です。

この公園は、造形大学の上山良子教授(当時)が設計し、そのコンセプトとロケーションから、同年、日本建築美術工芸協会賞を受賞しています。

公園施設は、長岡空襲を記憶にとどめる「記憶の森」と、平和の願いを世界に発信する「水辺のゾーン」、そして公園の中心に、長岡の未来と平和を見守るかのよう立つ「平和像」によって構成されています。

この平和像は、空襲で亡くなった280余の子供たちの霊を慰め、慰霊と平和への限りない願いを込めて、昭和26年(1951年)11月、新潟県教職員組合によって長岡駅前に建立されました。

しかし、その後、駅前整備によって昭和49年には悠久山公園に、そして昭和59年には明治公園へと転々と移設され、平成8年、最後に安住の地となったのがこの平和の森公園でした。

平和像の両脇には、公園建設の趣旨に賛同された広島市長から贈られた被爆アオギリ二世がすくくと立ち、平和像を見守っています。

この公園では毎年、7月31日の「平和の森コンサート」のほか、8月1日には「非核平和都市宣言市民の集い」など、平和を祈る行事が開催されます。

そして、この平和の森公園は2012年に公開された大林宣彦監督作品『この空の花 ー長岡花火物語ー』のロケ地になった場所でもあります。

この平和の森公園は、「長岡空襲五十周年を市民の手で」と、長岡市民のひとりであった、藤田芳雄氏(現連合会長)、渡辺英明氏らが呼びかけ、平成6年7月に市民有志による「平和の森をつくる会」が結成され、平成8年6月の市民の募金と植樹による「植樹祭」を経て、同年8月に現在地に完成しました。

【この空の花 長岡花火物語のストーリー】

長岡市を訪れた、女性新聞記者・遠藤玲子はさまざまな人と出会い不思議な体験をする。2004年の新潟県中越地震を乗り越え復興した長岡市は、2011年の東日本大震災のときはいち早く被災地を援助した。その地を取材するため、また、元恋人から届いた手紙に引き寄せられ、玲子は長岡市を訪れた。『まだ戦争には間に合う』という舞台を書いた女子学生・元木花を中心に、長岡空襲からはじまる長岡市の記憶が鮮やかに蘇る。



(wikipediaより)

聴覚障害者との心のこもったコミュニケーションのために

④手話通訳は必要ですか？



手話

【手話】

・両手の人差し指を向かい合わせ2回回転する。



通訳・紹介
案内・ガイド

【通訳】

・親指を立てて指先で唇の左右端を往復します。



【必要】

・両手の4指を曲げて指先を向かい合わせたら、両手を自分側に強く引き寄せます。

必要・用事・要る・所要・ねばならない・かかる(費用、時間等)・べき

設立50周年記念事業 障害者川柳 その2

昨年、連合会は設立50周年を迎え、その記念事業のひとつとして、全国から「障害者川柳」を募集しました。寄せられた1,400句近い応募作品の中からピックアップして、このコーナーでご紹介します。障害者の暮らしや日々の思い、言いたいことなどが五・七・五の短い言葉の中から、涙と笑いとともに見えてきます。

解説 室井 泉柳

口見えず マスクで広がる ディスタンス

山宗雲水 栃木県 男

【解説】 コロナ禍ではソーシャルディスタンスは最低要件。しかし「接触」を避けることで障害者にとって逆にバリアができてしまうケースも多い。「手話」の他に「口話」で、唇の動きで会話をする聴覚障害者にとって、大切なマスクも、バリアのひとつになっています。

うどん屋の 薫りで右折 白い杖

大阪府 女 視覚障害

【解説】 白杖（はくじょう）を突きながら独り歩きする視覚障害者にとって、頼りになるのはパン屋さんやガソリンスタンド、靴屋さんなどのお店の臭い。この他にも様々な音や足裏に伝わる段差、太陽の日の当たる方向まで、大切な情報源です。



障害じゃ なくて私を 見てほしい

きくま 大分県 女 精神障害

【解説】 健常者が障害者と接するとき、つい最初に相手の障害を見てしまいがちですが、障害も「個性」のひとつと考え、ひとりの人間としての「私」を見てほしいのです。



羽のねに ここかそこかと かお叩く

三色すみれ 東京都 男 視覚障害

【解説】 あのブーンという嫌な音に、耳を研ぎすまして思わずパチンパチンと手を叩くのですが、残念ながらほとんどが空振りです。「かお」は「顔」と「蚊を」とかかっているのでしょうか？



身障連ホームページについて

50周年記念事業の一環としてホームページを開設しました。[\(http://shinsyoren.web.fc2.com/\)](http://shinsyoren.web.fc2.com/)
ホームページは下のQRコードからもOK!

皆様からのご意見や投稿などお気軽にお寄せください。かわら版やホームページなどに掲載いたします。また、ホームページの運用をお手伝いできる方を募集しています。事務局に連絡ください。



【事務局連絡先について】

現在、身障連事務局の連絡用電話を設置するための検討を進めています。ご不便をおかけしますが、決まるまでの間、電話090-2306-6305（土日）にお願いします。なお、メールは「nagaokasinsyou@yahoo.co.jp」にお願いします。右QRコードからもOK!



【編集後記】

この秋には衆議院選挙が行われます。当連合会の令和3年度第1回理事会冒頭に、米山隆一氏と奥様の室井佑月さんがそろってご挨拶されました。また、同氏事務所からの推薦要請に対しても応じてきたところです。ぜひ、国会議員となっただき、障害者が安心して安全に暮らせる世の中を作っただきたいと思います。(K・T)